

・その他の危険有害性情報の「見える化」

視界の悪い海中作業でも

### 潜水士ヘルメット着用で潜水作業安全 の「見える化」

工事現場でのヘルメット着用は当たり前ですが、潜水士ヘルメット自体はほとんど見かけません。潜水士ヘルメット着用率はかなり低いのが現実です。理由のひとつに潜水中の動きが少し制限されることもあります。

以下の現場施工条件より海中作業に『潜水士ヘルメット着用』を採用しました。

潜水作業場所の上部に鉄骨構台があり、浮上時に頭部を守るヘルメット本来の防護機能。

暗く視界の良くない海中作業、ウエットスーツの黒と対照的な「真っ白なヘルメット」は潜水士同士の視認性向上や船上の監視員からも位置確認出来る識別機能。

海中の潜水士も「潜水士ヘルメット」をキッチリ被ることで船上の作業員への規律遵守の意識高揚機能。



潜水士ヘルメット

現在 潜水作業では連絡指示は無線使用が当たり前ですが、  
「よく見えることの安心感」は安全と品質とやる気をしっかりサポートしています。



潜水士ヘルメット(前面)



潜水士ヘルメット(側面)



潜水士ヘルメット(後面)

